

# 議案に対する質問

ウェルピア伊予が小学生以下の宿泊料金を値上げ！

## 問

- ①なぜ、小学生以下の宿泊料金の値上げをするのか。
- ②学生の合宿において、宴会場は宿泊に利用できないか。
- ③指定管理者への委託料並びにその経営状態の公開は。

## 答

①現在小学生以下は、通常料金と、ゴールデンウィーク、お盆、夏休み、年末年始の特別期間の料金を同額としているが、特別期間に限り、指定管理者であるファンスペース



ウェルピア伊予の客室

# 質疑

から若干の引上げ要望があった。現行のシングル料金4640円ということで、条例改正による上限の5570円は、特別期間の上限金額である。

②旅館業法により宴会場は、宿泊施設と登録、認定されないで、宿泊は難しい部分がある。

③宴会場の宿泊施設としての位置付けを再確認し、可能性があれば、協議も進めたい。

④公の施設である以上、公開の方向という形が望ましかれば、可能な限りファンスペースあるいは市のホームページに掲載するよう努めたい。

## 株式会社まちづくり郡中の運営状況について

## 問

- ①既存商店街に対しての費用対効果は。
- ②市が負担する管理委託料が高額ではないか。
- ③事業内容の位置づけを聞く
- ④今後のテナント加入者は、方向性として転換期では。
- ⑤町家が本来目指すものとは

何か、行政としての認識並びに今後の展望を問う。



町家の風景

## 答

①オープンして5年、特産品の販売売上げ、入り込み客数も前年度に比べ110人、企業生産個人は、農作物の販売が1億4000万円と、前年度比114%の伸びを見ている。その他、鮮魚等、店舗内の21区画あるボックスの売上げ料金4200万円、合計で約1億8000万円の売上げが出ている。

②単年度で600万円の収益を上げ、年々累積赤字を解消しつつあり、770万円の指定管理料も、今後順次減っていくと考えている。

③テナントで新規の方が研修実績を積んで、商店街の中へ

入っていくという位置付けもあるが、実績はまだない。

④テナントに入る場合には、町家に計画書を出し、町家部会にかけ町家の役員が面接をする。最終的に取締役会で報告している。

⑤町家がにぎわって人が集まってくる、そして郡中の町を発信していく。並行してテナントが中心市街地の中にも入っていく仕組みづくり。また町家を食のテーマにした町づくりにし、中心市街地に入っていく、この2つのテーマが大事であると認識している。

## グループホーム開設に関連して問う

## 問

- ①グループホーム開設の時期と規模は。
- ②予算はどのくらいか。
- ③認知症患者が増えた場合、今後の市の対応は。
- ④職員の処遇改善は、どのように補助金を交付するか。

## 答

①第4期介護保険事業計画の中で、グループホームは3ユ

ニット(定員27人)増設となっている。8月19日第1回地域密着型サービス運営委員会で、申請のあった8事業所を3事業所に絞った。今月末に最終決定したい。開設は半年程度後である。

②月一人当たり、大体22、23万円の介護給付費が要る。

③3ユニット27人で総額は月700万円であり、市の負担は12・5%なので、年間約1000万円となる。

④国を支えてくれた皆さんを守るの当然である。行政としてできるだけのことをしたい。

④地域に対する広報・啓発、また職員の研修等の費用として、国から定額一人当たり60万円×27人分の補助金が支給される。



下三谷にあるグループホーム